

情報公開文書

課題名 : 地方都市における対策型胃内視鏡検診の現状と課題

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2026年3月31日

研究開始日: 臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

富士市の対策型胃内視鏡検診受診者で、2021年度～2025年度の延べ約10,000人。および、2008年度～2025年度の富士市の胃部エックス線検診受診者延べ約55,000人と富士市胃がんリスク検診受診者約17,000人。2008年度～2019年度の富士市独自の胃内視鏡検診受診者延べ31,644人

2. 研究目的・方法

2016年から対策型胃内視鏡検診が全国的に導入されたものの、地方都市においては、専門医の確保の困難性等により二次読影体制が構築できず、検診が行えない自治体も多い状況です。そうした中、富士市では二次読影を非専門医も含む一人体制で行いながら、検診全医療機関が参加する三次読影(総合判定会)体制により2021年度から対策型胃内視鏡検診を開始し、現在年間約2,000名の方の検診を行っています。こうした検診方法の有用性について、その成果を検討するためにプロセス指標(要精検率・陽性反応的中度・がん発見率など)の推移を検討し、さらに他自治体との比較や他の胃がん検診データとの比較検討が必要と考え、本研究の実施を計画しました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液, 組織, 細胞, 体液, 排せつ物などヒトの体の一部

情報: 年齢、性別、検診受診者数の推移、胃がん検診プロセス指標(要精検率、精密検査受診率、未把握率、がん発見率、陽性反応的中率)など。他自治体で公開されている対策型胃内視鏡検診の指標結果等。

4. 外部への試料・情報の提供

本研究で使用する内視鏡検診データに関しては富士市医師会内の検診システム内の情報をもとにしており、いずれもお名前、住所などの個人情報とは削除された状態で提供されています。また、富士市医師会内のデータは富士市の健康管理番号で管理されており、同番号にて個人情報を確認することができます。

5. 研究組織

富士市医師会 胃がん検診委員会メンバーで検討を行います。

研究代表者: 金岡 繁(浜松医療センター 副院長・消化器内科部長)

研究分担者:

櫻村弘隆(富士市医師会 櫻村胃腸科外科院長)

宮崎 裕(富士市医師会 宮崎クリニック院長)

梅原靖彦(富士市医師会 梅原クリニック院長)

川村雅彦(富士市医師会 川村病院副院長)

久保田敏彦(富士市医師会 久保田内科クリニック院長)

佐野勝英(富士市医師会 佐野胃腸科外科医院院長)

関 暢彦(富士市医師会 せきクリニック院長)

宮沢正行(富士市医師会 宮沢内科医院院長)

山崎聖二(富士市医師会 山崎医院院長)

(様式4)

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所等、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

富士市医師会 事務局 樫村弘隆

住所:静岡県富士市伝法 2850

電話:0545-52-3111

研究代表者:金岡 繁(浜松医療センター 副院長・消化器内科部長)